

# ユニオンファンド 月次レポート

第 174 号

追加型投信 / 内外 / 株式 分配金再投資専用ファンド

2023年5月9日作成

## MONTHLY TOPIC

### お陰様で創業 15 年

ユニオン投信は去る 4 月に、設立 15 周年を迎えました。創業メンバーが大切にしたものを守り育てる地道な活動の日々が積み重なって、ここまで来ることができたのだと思います。会社の運用資産を表す純資産総額は 110 億円を超え、基準価額も過去最高を更新したところです。ゆっくりと、ではありますが、ユニオン投信は着実に成長を続けています。

この間、ファンドを購入・保有いただいたお客様はもとより、私たちの取り組みを熱心に伝え、支え続けてきてくださった多くの方のご支援の賜物です。改めて感謝を申し上げます。

#### すっかり忘れておりましたが、それはそれでいいか、という気も

実はこの創業記念日を社員はほぼ意識しておりませんでした。先日、業務を委託している会社から立派な花が届きまして、ああそうだった、と思ひ出したくらいです。なんとも間が抜けているという気もしますが、一方で、15 という数字に特段の意味があるわけではない、とも思います。理屈っぽいことを言いますと、5 という数字は 10 進法だからこそそれなりに目立つわけで、12 進法だったらまるで中途半端ですし、2 進法だったら 1111 です（予想外に凄い並びになってしまいましたが）。

正直なところを申しますと、15 周年だから何かする、といった気持ちはさほど強いものではありません。別に何年経とうが、やるべきことをしっかりやるだけですし、祝っている場合ではないという気持ちもあります。

#### とはいえ、これを機に

15 年間、成長し続けられたことはとてもありがたく、素晴らしいことですが、大事なのは言うまでもなくこれからです。お客様の将来の資産づくりに貢献する、という会社の大きな願いを実現していくのには、そもそも時間がかかります。15 年はまだまだほんの一里塚程度です。これからも今まで以上に健全な運営の実現に突き進んで行かなくてはなりません。

やるべきことは結構たくさんあります。年月を経てもろくなっているところもあるでしょうから、補強も必要でしょう。もちろん、新しい取り組みを始めることも重要です。お客様が安心してファンドを持ち続けていただくために必要なあらゆることに目を向けて、これからも社員全員で前進し続けてまいります。

創業何年であろうと、日々、皆様の隣で並走し、資産づくりを目指している方たちにとって「そこにいて当たり前」の存在として、ともに年齢を重ねていけたらと願っています。

久保田徹郎

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## UNION FUND REPORT

## ユニオンファンド運用状況

(2023年4月末現在)

## 基準価額

31,262 円

## 純資産総額

108 億 27 百万円

## 期間別騰落率(%)

1 ヶ月	1.90%
1 年	6.90%
3 年	48.35%
5 年	25.33%
10 年	86.67%
設定来	212.62%

## 複利年率(%)

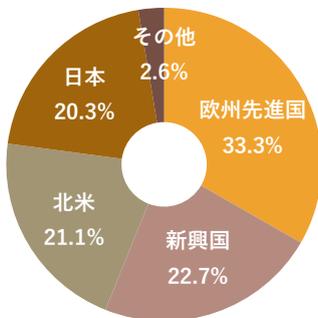
8.16%

\* 騰落率は過去の実績値であって、将来の成績を約束するものではなく、また受益者ごとの購入時期によって異なります。

\* 「複利年率」は、設定日から基準日までの騰落率を年率（複利）で表したものです。

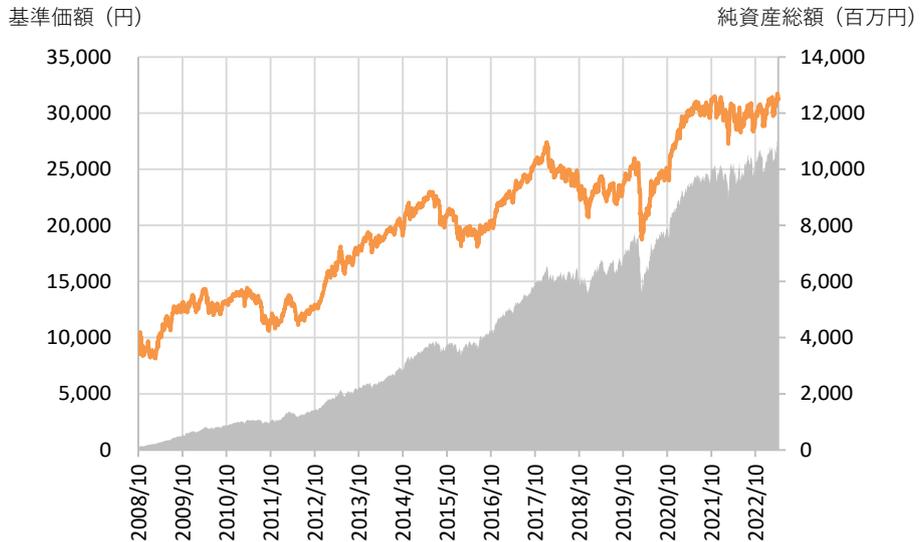
\* 設定来、分配の実績はありません。

## 地域別構成比



投資部分(現金等を除く)に占める比率  
(2023年3月末現在)

## 基準価額と純資産総額の推移 (設定来、分配の実績はありません。)



## 組入ファンドの内訳

ファンド名	主な地域	組入比率(%)	月間騰落率(%)※
さわかみ F	日本	4.8%	1.3%
スパークス F	日本	12.0%	1.7%
キャピタル F	欧米	18.8%	3.2%
ハリス F	欧米	19.3%	2.3%
コムジェスト・ヨーロッパ F	欧州	12.6%	5.1%
コムジェスト・エマージング F	新興国	18.6%	0.2%
現金等	-	13.8%	-

※ 騰落率はユニオンファンドの基準価額に反映する日付で計算

## ファンドの特長

- ① 長期で「債券」の収益率を上回るとされる「株式」に投資します
- ② 世界の経済成長を享受するため、「グローバル」な視点で投資します
- ③ 専門性の高い複数ファンドに投資する「ファンド・オブ・ファンズ」で運用します
- ④ 実績のある資産運用会社の「アクティブ」ファンドに投資します
- ⑤ 株価が割高と思われるときには現金比率を高め、割安局面での買い増しに備えます

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## UNION FUND REPORT

## 2023年4月の市場動向と運用状況

## 投資環境

4月の株式市場は、銀行問題の落ち着きなどから反発した3月後半の流れを引き継いで、概ね上昇基調となりました。ただ、2月の高値近辺まで戻ったところで銀行問題が再燃したことから、下旬に若干押し戻されました。大きな売買材料が減り、やや膠着感が広がった1か月でもありました。

世界経済は、新型コロナウイルス感染症への規制が緩和・解除され、雇用も堅調に推移していることがプラスとなっており、サービス業の好調を原動力に、思っていた以上に良好な状態で推移しました。もっとも、昨年までの急激なインフレと、急ピッチで進められた金融引き締めの影響は、依然として重荷になっています。特に製造業は、全体として昨年後半の悪化局面から回復しつつあるものの、かなり弱い状態が続きました。

インフレは、一部で上昇ピッチがなかなか落ちない国もありますが、米国をはじめとして総じて低下傾向が続きました。ただ、先行して低下に転じた国では、低下ピッチが鈍っています。米国では、価格変動が激しいエネルギーと食品を除いたいわゆるコア指数が足元で上昇の兆しを見せました。インフレ圧力はしぶとく残っています。

## 運用の状況

ユニオンファンドの基準価額は、欧州株とユーロが上昇したことなどから、前月末比小幅高となりました。売買は見送りました。月末の組入比率は前月末と同水準の86.2%でした。

## 今後の見通し

銀行経営への懸念から株価が売られる事態が足元で再び起きています。調達金利の上昇と長期金利の低下による逆ザヤ状態は、程度の差はあれ銀行業界全体に共通した問題であり、苦境に陥っている銀行は少なくないと見られます。銀行は、自らが困難な状況にあることに加え、融資先の先行きについても警戒し始めており、貸し出し姿勢はかなり慎重になっています。一方、クレジットカードでの借り入れの返済状況は悪化しており、延滞率がかなり高まってきました。雇用に関する指標の中には悪化を示すものも増えつつあります。こうしたことから、堅調と言われ続けてきた消費が勢いを失っていく可能性には注意が必要だと思います。

このほか、ごく目先の警戒要素として、米国政府の債務上限問題があります。上限引き上げを求める民主党と、そのためには歳出削減が必要とする共和党の対立は根深く、決着するのか極めて不透明です。すでに連邦政府の債務残高は法律が定める上限に達しており、財務省があの手この手で資金を捻出している状況ですが、さすがにそれにも限界があり、財務省は6月1日がタイムリミットだと示しました。それを過ぎれば債務不履行という重大事態に発展しかねません。債務上限を巡る対立は過去にも何度かあり、そのたびにギリギリのタイミングで妥協が成立し、債務不履行は回避されてきました。市場関係者の多くは「今回もなんとかなる」と予想しています。ただ、仮に回避できるとしても、タイムリミットが迫ると市場はそれなりに動揺してきましたので、注意が必要と思われます。

こうしたことから、いましばらく事態の推移を注視していく必要があると考えています。現行のやや慎重な姿勢を維持しつつ、買い増しの機会を探っていく方針です。

運用責任者 久保田徹郎

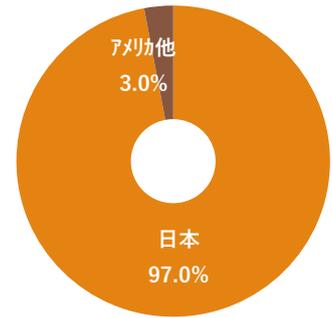
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

# さわかみファンド

基準価額の推移



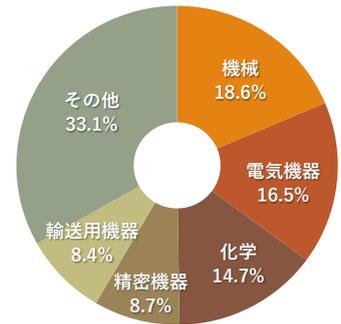
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 ダイキン工業	4.5%	日本	機械	エアコン世界首位
2 浜松ホトニクス	4.1%	日本	電気機器	光検出器の世界的企業
3 信越化学工業	4.0%	日本	化学	塩ビ・シリコンエー世界大手
4 プリチストン	3.7%	日本	ゴム製品	タイヤ世界大手
5 テルモ	3.3%	日本	精密機器	医療機器 (カテーテル)
6 トヨタ自動車	2.7%	日本	輸送用機器	自動車世界大手
7 ディスコ	2.6%	日本	機械	半導体等の切削・研磨装置
8 ニデック	2.6%	日本	電気機器	精密モーター世界首位
9 TOTO	2.4%	日本	ガラス・土石製品	衛生陶器国内首位
10 デンソー	2.4%	日本	輸送用機器	世界的自動車部品メーカー
上位10銘柄	32.2%		現金等	13.9%

業種別構成比



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 < 2023年4月末現在 >

# スパークスF (スパークス・集中投資・日本株ファンドS)

基準価額の推移



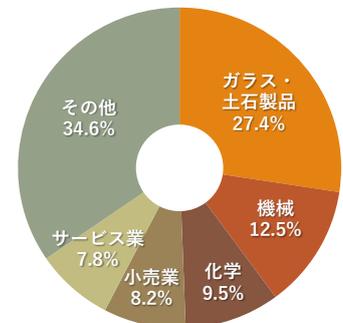
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド) ※組入比率の記載はなし。証券コード順。

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
シップヘルスケア		日本	卸売業	医療機器・設備
東洋炭素		日本	ガラス・土石製品	特殊黒鉛製品 (等方性黒鉛)
MARUWA		日本	ガラス・土石製品	セラミック基板世界トップ
フジミインコーポレーテッド		日本	ガラス・土石製品	半導体向け用研磨材等
マックス		日本	機械	鉄筋結束機、スーパージェット
山洋電気		日本	電気機器	冷却ファン・サーボモーター等
全国保証		日本	その他金融業	独立系の住宅ローン保証会社
ダイレクトマーケティングミックス		日本	サービス業	営業・マーケティング代行等
トーセイ		日本	不動産業	不動産流動化・開発・賃貸等
京成電鉄		日本	陸運業	東京・千葉方面の大手私鉄
現金等				6.4%

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 < 2023年3月末現在 >

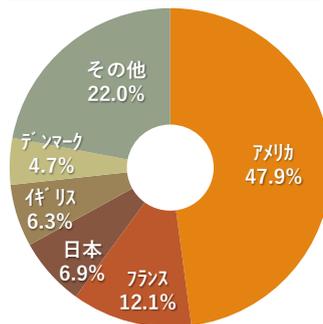
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

# キャピタルF (キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX)クラスZ)

基準価額の推移



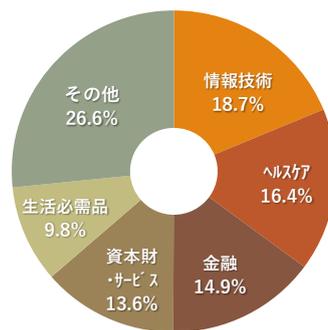
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 Novo Nordisk	2.7%	デンマーク	ヘルスケア	糖尿病薬等世界首位
2 Microsoft	2.6%	アメリカ	情報技術	世界最大のコンピューター・ソフト
3 ASML	2.2%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
4 Broadcom	2.2%	アメリカ	情報技術	無線・通信向け半導体等
5 AstraZeneca	2.0%	イギリス	ヘルスケア	薬品会社
6 Alphabet	1.9%	アメリカ	コミュニケーション・サービス	グーグルの持株会社
7 Apple	1.8%	アメリカ	情報技術	デジタル機器・ソフト大手
8 Safran	1.7%	フランス	資本財・サービス	航空・宇宙・防衛用エンジン等
9 UnitedHealth	1.4%	アメリカ	ヘルスケア	医療保険、ヘルスケアサービス
10 AIA	1.3%	香港	金融	生保・金融サービス
<b>上位10銘柄</b>	<b>19.8%</b>	<b>現金等</b>	<b>4.9%</b>	

業種別構成比



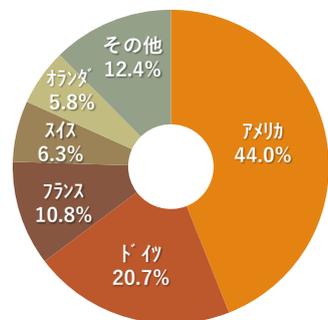
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2023年3月末現在>

# ハリスF (ALAMCOハリス グローバルバリュース株ファンド2007)

基準価額 (分配金込み) の推移



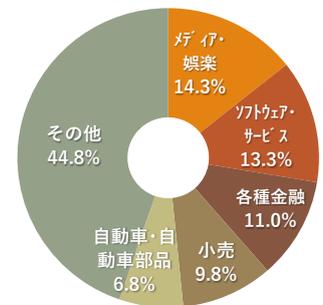
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 ALPHABET	5.3%	アメリカ	メディア・娯楽	グーグルの持株会社
2 BNP PARIBAS	3.9%	フランス	銀行	フランス大手銀行
3 MERCEDES-BENZ	3.8%	ドイツ	自動車・自動車部品	自動車世界大手
4 AMAZON.COM	3.7%	アメリカ	小売	ECサイト、ウェアサービス
5 SALESFORCE	3.7%	アメリカ	ソフトウェア・サービス	クラウド型営業支援・顧客管理
6 BAYER	3.2%	ドイツ	医薬品・バイ	大手化学医薬品メーカー
7 FISERV	3.1%	アメリカ	ソフトウェア・サービス	金融機関向け情報処理サービス
8 ALLIANZ	3.1%	ドイツ	保険	総合保険大手
9 CHARTER COMMUNICATIONS	2.9%	アメリカ	メディア・娯楽	ケーブルテレビ、携帯電話
10 JULIUS BAER	2.8%	スイス	各種金融	プライベートバンク
<b>上位10銘柄</b>	<b>35.6%</b>	<b>現金等</b>	<b>5.2%</b>	

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の24産業グループ、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2023年3月末現在>

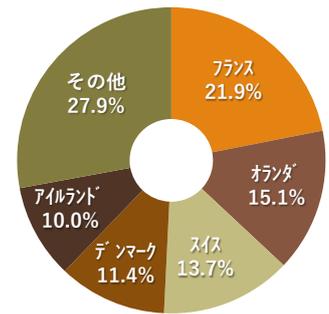
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

# コムジェスト・ヨーロッパF (コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90)

基準価額の推移



国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 NOVO NORDISK	8.5%	デンマーク	ヘルスケア	糖尿病薬等世界首位
2 ASML	7.1%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
3 ESSLORLUXOTTICA	5.9%	フランス	ヘルスケア	光学製品
4 LVMH	5.6%	フランス	一般消費財・サービス	ファッション等高級ブランド世界大手
5 LINDE	4.4%	ドイツ	素材	産業ガス世界大手
6 STRAUMANN HD	4.1%	スイス	ヘルスケア	歯科インプラントメーカー
7 ACCENTURE	3.9%	アイルランド	情報技術	総合コンサルティング会社
8 HEINEKEN	3.6%	オランダ	生活必需品	ビール生産世界大手
9 ALCON	3.5%	スイス	ヘルスケア	眼科医療機器・薬剤
10 EXPERIAN	2.9%	ドイツ	資本財・サービス	データベース・分析ツールの提供
上位10銘柄	49.4%	現金等	1.0%	

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2023年4月末現在>

# コムジェスト・エマージングF (コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド95)

基準価額の推移



国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 FOMENTO ECONOMICO	5.5%	メキシコ	生活必需品	飲料、コンビニチェーン
2 TSMC ADR	5.1%	台湾	情報技術	半導体メーカー
3 INNER MONGOLIA YILI	4.9%	中国	生活必需品	乳製品国内大手
4 BB SEGURIDADE	4.7%	ブラジル	金融	保険大手
5 SAMSUNG ELECTRONICS	4.5%	韓国	情報技術	家電・電子部品大手
6 AIA	4.4%	香港	金融	生保・金融サービス
7 WEG	4.3%	ブラジル	資本財・サービス	電動機、変圧器
8 HOUSING DEVELOP. FINANCE	4.1%	インド	金融	インド最大手の住宅開発金融会社
9 DELTA ELECTRONICS	4.0%	台湾	情報技術	電源、変圧器
10 MERCADOLIBRE	3.9%	アルゼンチン	一般消費財・サービス	中南米中心のEコマース企業
上位10銘柄	45.5%	現金等	4.1%	

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2023年4月末現在>

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## NOTICE

## 業務管理部からのお知らせ

### ご登録情報・ご契約内容の変更手続きについて

弊社へご登録いただいているご住所、お名前等の登録情報、毎月積み立て「定期定額購入サービス」の購入金額や引落金融機関口座等の契約内容の変更につきましては、書面によりお届けいただいております。

各届出用紙につきましては、弊社業務管理部（TEL：0263-38-0725）へのお電話 または 弊社ホームページの「お取引について」 よりご請求ください。

#### ≪弊社ホームページからの変更用紙請求手順≫

「お取引について」>「登録情報変更用紙請求」ページ  
[https://www.unionam.co.jp/account/regipii\\_input/](https://www.unionam.co.jp/account/regipii_input/)

- ① [入力フォーム]お客様の情報 をご入力
- ② [入力フォーム]必要書類の部数・用紙送付先情報をご入力
- ③ 「入力内容の確認画面へ」> 内容ご確認の上「送信」ボタン

※ 定期定額購入サービスは購入スケジュールに沿って手続きを行いますので、お申込みの時期によってはご契約内容が反映されるまでにお時間がかかる場合がございます。何卒ご了承ください。

※ 上記以外の登録情報などに関すること（特定口座、マイナンバー、お届け印など）でお困りのことがございましたら、お電話または弊社HPより弊社業務管理部までお問い合わせください。

### お客様コード（口座番号）について

「お客様コード（口座番号）」とは、弊社に口座をお持ちのお客様がお取引等いただく際に、お客様を特定させていただくための番号です。

口座開設された際に弊社より郵便にてお送りいたしました「総合取引口座【新規】お客さま控え」にてご確認いただけます。

また、お取引の都度お送りいたします「取引報告書」（圧着ハガキ）のお開きいただいた左上にも「口座番号」として「お客様コード」を記載しておりますので、こちらでもご確認いただけます。

※ 各種報告書や月次レポート郵送時の宛名の下に印字されている記号や番号は、お客様コードではありません。

※ 「お客様コード（口座番号）」がご不明な場合には、「お客さま控え」を再発行しお送りいたしますので、ご希望の際は弊社業務管理部（TEL：0263-38-0725）までご連絡ください。（メールやお電話ではお答えしていません。）

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## RISK AND FEE

## ユニオンファンドのリスク・手数料

## 『ユニオンファンド』のリスク

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。－

ユニオンファンドは、主に国内外の株式などに投資する投資信託証券等に投資するファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行います。組入れる投資信託証券等は、株価変動、金利変動や債券発行者の経営・財務状況の変化等で値動きします。また、為替相場の影響を受ける投資信託証券等もあるため、ファンドの基準価額も変動し、損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの主なリスクは、「価格変動リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」です。

## 『ユニオンファンド』の手数料等

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。－

**申 込 手 数 料** お申込みにあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。  
※スポット購入時の購入用口座への振込手数料はお客様負担となります。

**換 金 手 数 料** ご換金（解約）にあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。

**信 託 財 産 留 保 額** ありません。

**信 託 報 酬** 純資産総額に年 0.88%（税抜 年 0.8%）の率を乗じた額です。  
毎日、信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます（基準価額は信託報酬控除後の価額です）。  
[\*実質的な信託報酬（概算）：純資産総額に対して年 1.8%±0.3%（税込）]  
\*実質的な信託報酬の率は、『ユニオンファンド』が投資対象とする投資信託証券にかかる信託報酬を含めたものです。あくまでも目安であり、組入状況により変動します。  
※ 信託報酬にかかる税金は、税法等が変更・改正された場合、変更になることがあります。

**そ の 他 の 費 用** 上記のほか、次の手数料・費用等が信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます。

- ① 組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料（消費税等相当額の費用を含みます。）
- ② 信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立て替えた立替金の利息、監査法人から監査を受けるための費用（監査費用）（消費税等相当額を含みます。）

※ 監査費用は弊社が一部または全部を負担することがあります。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。